



2020年3月18日

各 位

会 社 名 株式会社オープンハウス  
住 所 東京都千代田区丸の内二丁目4番1号  
代 表 者 名 代表取締役社長 荒井正昭  
(コード番号：3288 東証第一部)  
問 合 せ 先 取締役 常務執行役員 若旅 孝太郎  
管理本部長兼経営企画部長  
TEL. 03-6213-0776

### 当社の業績動向について

当社の足元の業績動向について、下記の通りお知らせいたします。

### 記

#### 1. 業績全般

当社が2019年11月14日に発表した業績予想に対する事業の進捗は、第1四半期連結累計期間に引き続き、堅調に推移しております。特に上期業績につきましては、利益計画を上回る水準で進んでおり、下期業績につきましても新型コロナウイルス感染症の影響に注視する必要はあるものの、1月以降の販売契約は好調に推移しております。

また当社は、都心部の実需である1次取得者層を主要顧客とする戸建関連事業がグループの売上高の65%を占めていることから、金融環境変化の影響を受けづらい収益構造であることに加え、足元の現預金残高は1,500億円を超えているほか、たな卸資産回転率(売上高/たな卸資産期首期末平均)も2.2回転と安全性を確保しているなど環境変化に臨機応変に対応できるようバランスシートの管理も徹底しております。

#### 2. 戸建関連事業

戸建を販売する仲介営業の契約件数は、1~2月累計で前期比44.1%と計画を上回って好調に推移しており、3月に入っても堅調に進んでおります。建設資材、住宅設備の一部において納品の遅れが散見されるものの、お取引先様のご協力により概ね計画通りに竣工することができる状況です。

仲介契約件数の前年同期比増加率

	2019年9月期				2020年9月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1~2月
前年同期比 増加率	21.6%	30.1%	21.8%	29.1%	19.6%	44.1%

#### 3. マンション事業

今期引き渡し予定戸数に対する契約進捗率は92%に達しており、足元の契約も堅調で計画通り進捗しております。

#### 4. 収益不動産事業

当社の主要顧客である信用力の高い個人富裕層、事業会社に対する融資の状況並びに、当社が取り扱う5億円前後の収益不動産の取得意欲に関して、大きな変化は見られません。なお、当社はホテル、宿泊施設は運用しておりませんので、新型コロナウイルス感染症の影響による宿泊需要の低下等の影響はございません。

#### 5. アメリカ不動産

2019年12月の税制改正大綱発表以降も、純投資、資産分散を目的とする需要は堅調で計画通り進捗しております。

##### アメリカ不動産（戸建）の販売契約棟数

	2019年9月期				2020年9月期	
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	1～2月
販売契約棟数	180棟	152棟	226棟	244棟	8棟	101棟

#### 6. 財政状態（2019年12月末、単位：億円）

現金及び預金	1,396	流動負債	1,590
たな卸資産	2,540	固定負債	1,553
その他の流動資産	435	純資産	1,446
固定資産	216	(自己資本比率 31.4%)	
資産合計	4,590	負債純資産合計	4,590

以上